東京電力株式会社
環境線量低減対策
2014/8/28現在

環境線量低減対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで１ヶ月の動きと今後１ヶ月の予定		7月～11月	備　考
環境線量低減対策	放射線量低減	敷地内線量低減 ・段階的な線量低減	（実　績） ・敷地内線量低減にかかる実施方針を踏まえた敷地内除染の検討 ・線量低減後の維持管理を行う線量率モニタやダストモニタ設置の検討 ・１～４号機山側法面　線量率測定、除染計画作成、調査・詳細設計 ・１～４号機山側法面　除草、表土除去、モルタル吹付 ・Gタンクエリア　除染計画作成、調査・詳細設計 ・地下水バイパス周辺　舗装等 ・道路清掃、排水路清掃に関する検討（現況調査，対象エリア、実施方法等） ・道路清掃（排水路流域） ・Hタンクエリア　線量率測定（線量低減作業実施前） ・Hタンクエリア　伐採，整地（表土除去），アスファルト舗装等 ・企業棟南側エリア路盤、アスファルト舗装 ・免震重要棟・多核種除去設備周辺エリア 除染計画作成、調査・詳細設計 ・免震重要棟・多核種除去設備周辺エリア 線量率測定（線量低減作業実施前） ・企業棟周辺エリア　調査・詳細設計 （予　定） ・敷地内線量低減にかかる実施方針を踏まえた敷地内除染の検討 ・線量低減後の維持管理を行う線量率モニタやダストモニタ設置の検討【平成26年度末設置予定】 ・１～４号機山側法面　除染計画作成、調査・詳細設計 ・１～４号機山側法面　除草、表土除去、モルタル吹付 ・Gタンクエリア　除染計画作成、調査・詳細設計 ・地下水バイパス周辺　舗装【～H27.2末予定】 ・Hタンクエリア　伐採，整地（表土除去），アスファルト舗装等【～H27.3末予定】 ・企業棟南側路盤，アスファルト舗装 ・免震重要棟・多核種除去設備周辺エリア 線量率測定（線量低減作業実施前） ・道路清掃（排水路流域） ・排水路（K排水路、B・C排水路、A排水路、物揚場排水路） ・企業棟周辺エリア　調査・詳細設計 エリアⅠ　１～４号機周辺で特に線量当量率が高いエリア エリアⅡ　植栽や林が残るエリア エリアⅢ　設備設置または今後設置が予定されているエリア エリアⅣ　道路・駐車場等で既に舗装されているエリア ■■■ 敷地内線量低減に係る実施方針範囲	検討 設計	敷地内線量低減にかかる実施方針を踏まえた敷地内除染の検討 線量低減後の維持管理を行う線量率モニタやダストモニタ設置の検討 ■Ⅰエリア（１～４号機周辺で特に線量率が高いエリア） 作業進捗の反映　～7/31→～8/31 法面 除染計画の作成 調査・詳細設計 ■Ⅱエリア（植林や林が残るエリア）及び■Ⅲエリア（設備設置または今後設置が予定されているエリア） Hタンクエリア 除染計画の作成　作業進捗の反映　～7/31→～8/16 調査・詳細設計　作業進捗の反映　8/16→～10/31 Gタンクエリア 除染計画の作成　作業進捗の反映　～7/31→～9/30 調査・詳細設計 免震重要棟・多核種除去設備周辺エリア 除染計画の作成　作業進捗の反映　～8/31→～10/31 ■Ⅳエリア（道路・駐車場等で既に舗装されているエリア） 新規記載 企業棟周辺エリア調査・詳細設計 道路清掃、排水路清掃に関する検討（現況調査，対象エリア、実施方法等）	法面の除染計画の作成については、廃棄物の発生量等を加味した上で、検討・調整中 Hタンクエリアの除染計画の作成については、線量率測定（線量低減作業実施前）が悪天候の影響と熱中症対策としての作業規制により遅延しているため、計画の作成も延伸。 Gタンクエリアの除染計画の作成及び免震重要棟・多核種除去設備周辺エリアの除染計画の作成については、法面及びHタンクエリアの除染を優先して実施するため、その後に作成予定。
				現場作業	■Ⅰエリア（１～４号機周辺で特に線量率が高いエリア） 新規記載 １～４号機山側法面　除草、表土除去、モルタル吹付 ■Ⅱエリア（植林や林が残るエリア）及び■Ⅲエリア（設備設置または今後設置が予定されているエリア） 地下水バイパス周辺　舗装 Hタンクエリア　線量率測定（線量低減作業実施前）　作業進捗の反映　～7/31→～8/16 新規記載 Hタンクエリア　伐採、整地（表土除去）、路盤、アスファルト舗装等 企業棟南側エリア路盤、アスファルト舗装　作業進捗の反映　～7/31→～8/31 免震重要棟・多核種除去設備周辺エリア線量率測定（線量低減作業実施前） 新規記載 道路清掃（排水路流域） 排水路清掃（K排水路，B·C排水路，A排水路，物揚場排水路）	Hタンクエリア線量率測定（線量低減作業実施前）については、悪天候の影響により延伸。 ※企業棟南側エリアの線量低減は、H26.3中旬に伐採，表土除去まで終了しているが、H26.3中旬～H26.6末に暫定事務棟の付帯設備工事を実施するため、H26.7以降に当該エリアの路盤，アスファルト舗装を実施し、線量低減効果を確認する予定。

環境線量低減対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで１ヶ月の動きと今後１ヶ月の予定		7月 27	8月 3	8月 10	8月 17	8月 24	8月 31	9月 7	9月 14	9月 下	10月 上	10月 中	10月 下	11月 前	11月 後	備　考
環境線量低減対策		海洋汚染拡大防止 ・遮水壁の構築 ・繊維状吸着材浄化装置の設置 ・港湾内の被覆 ・浄化方法の検討	（実　績） 【遮水壁】鋼管矢板打設（8/26時点進捗率；[1工区] 98%） 継手処理（8/26時点進捗率；1工区 92%、2工区 75%） 埋立（8/26時点進捗率；[第１工区] 87%） １号機取水口前シルトフェンス撤去(H26.1.31) 【海水浄化】港湾内海水濃度の評価、浄化方法の検討 ３号機シルトフェンス内側繊維状吸着材浄化装置設置（H25.6.17）、繊維状吸着材の吸着量評価 【海水モニタ設置】 電線管路設置，ケーブル敷設（H26.5～H26.7） （予　定） 【遮水壁】　鋼管矢板打設（～H26.9予定） 継手処理（～H26.9予定） 【海水浄化】港湾内海水濃度の評価、浄化方法の検討 【4m盤地下水対策】 港湾内海水モニタリング 港湾内海水の流動・移行シミュレーション（H25.9～H26.8予定） 【海底土被覆】 海底土被覆工事の実施（H26.4～H27.3予定 8/25時点進捗率:12%） 【海水モニタ設置】 海上設備設置（H26.7～H26.8予定）	検討・設計	【海水浄化】港湾内海水濃度の評価、浄化方法の検討（モニタリング強化、沈殿等による浄化方法）													
				現場作業	【遮水壁】鋼管矢板打設　8/26時点進捗率 第1工区(港内：98%（～完了時期調整中）　第2工区：100%（打設完了）									工程調整中					第1工区は工程調整中。 第2工区の継手処理の完了予定は，他工事とのヤード調整等によりH26.9に変更。
					【遮水壁】継手処理　8/26時点進捗率　第1工区：92%（～完了時期調整中）　第2工区：75%（～H26.9完了予定）														
					【遮水壁】埋立　8/26時点進捗率　第１工区：87%（～完了時期調整中）　第2工区：100%（埋立完了）														
					港湾内海水モニタリング														
					海底土被覆（被覆工　8/25時点進捗率 12%（～H27.3完了予定））														
					海水モニタ設置【港湾内】（準備工，電線管路設置，ケーブル敷設，海上設備設置，系統試験） 工程見直し　～8／8→～8／31						工程見直し　8／8～→9／1～ 海水モニタ試運用（約3ヶ月）								荒天により工程見直し
	評価	環境影響評価 ・モニタリング ・傾向把握、効果評価	（実　績） ・1～4号機原子炉建屋上部ダスト濃度測定、放出量評価 ・敷地内におけるダスト濃度測定（毎週） ・降下物測定（月１回） ・港湾内、発電所近傍、沿岸海域モニタリング（毎日～月1回） ・20km圏内 魚介類モニタリング（月1回 11点） ・茨城県沖における海水採取（毎月） ・宮城県沖における海水採取（隔週） （予　定） ・1～4号機原子炉建屋上部ダスト濃度測定、放出量評価 ・敷地内におけるダスト濃度測定（毎週） ・降下物測定（月１回） ・港湾内、発電所近傍、沿岸海域モニタリング（毎日～月1回） ・20km圏内 魚介類モニタリング（月1回 11点） ・茨城県沖における海水採取（毎月） ・宮城県沖における海水採取（隔週）	検討・設計			1,2,3,4u放出量評価				1,2,3,4u放出量評価								
				現場作業		3,1,4uR/B測定， 敷地内ダスト測定	2uR/B測定	※1uR/B測定（建屋カバー解体後）			1,2,3,4uR/B測定								1uR/B測定（建屋カバー解体後）は、作業工程に応じてサンプリングを実施予定
					降下物測定（1F,2F）														
					海水・海底土測定（発電所周辺, 茨城県沖, 宮城県沖）														
					20km圏内 魚介類モニタリング														